

平成30年度

第3学年 総合的な学習の時間(プログラミング教育) 単元計画

単元名	レッツ トライ! プログラミング				
学年・組	第3学年 1組	児童数	22名	指導者	主任教諭 坂東 一樹
	第3学年 2組		19名		教 諭 田中 健太郎

1 評価規準【プログラミング教育の観点】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の 評価規準	<p>①日常生活の様々な場面でプログラムが活用されていることを知る。【プ①知識・理解】</p> <p>②プログラムは手順に沿って動いており、「順次」「繰り返し」「条件分岐」の考え方を理解している。【プ①知識・理解】</p> <p>③ロボットやプログラミングアプリの使い方を理解し、簡単なプログラムを読んだり、組んだりできる。【プ②技能】</p>	<p>①課題解決のために、手順を整理し、分割したり、結合したりして考えている。 【プ③課題把握・手順の整理】</p> <p>②プログラムの結果から、課題を見つけ、根拠をもって解決策を考えている。 【プ④アルゴリズム・論理的な思考】 【プ⑤記号化】【プ⑥検証・評価】</p> <p>③課題解決のために、情報を集め、整理してまとめ、発表している</p>	<p>①解決すべき課題を把握し、進んで活動に参加している。 【プ⑦意欲・工夫改善】</p> <p>②他の人と協働して、課題を解決しようとしている。 【プ⑧主体性・協力的性】</p> <p>③日常生活でも手順が大切であることに気づいている 【プ⑨生活への活用】</p>

2 単元計画

次	時	日時	学 習 活 動	主な評価規準[] プログラミング教育の観点 []
第1次 つかむ	①	【1組】 1/10(火) 4校時	「プログラムって何だろう」(アンプラグド) ○プログラムとは・私たちの生活との関係 ・「ルビィのぼうけん」(ダンス、ダンス、ダンス!) ・生活の中でのプログラム(電子レンジ、信号機など)	[知識・技能]① 【プ①知識・理解】
	第2次 さわる	②	【2組】 1/9(水) 3校時	「プログラミングをしてみよう」 ○アプリの操作、組立ての基本、ブロックの扱い
③		【1組】 1/17(木) 1・2校時	・「入門」の4種類(かたつむり、扇風機、人工衛星、スパイ) ・命令と動きが1対1対応であることを知る	[主体的態度]② 【プ⑧主体性・協力的性】
第3次 考える なおす	④	【1組】 1/22(火) 3・4校時	「科学探査機マイロをうごかさう」 ○アプリの操作、組立ての基本、ブロックの扱い ・3種のマイロ(モーター、モーションセンサー、チルトセンサー)に取り組む	[知識・技能]② 【プ①知識・理解】 [思考・判断・表現]①② 【プ④アルゴリズム・論理的な思考】 【プ⑤記号化】 【プ⑥検証・評価】
	⑤	【2組】 1/23(水) 1・2校時	・「宇宙シート」の課題を解決するために、マイロにプログラミングする	【プ⑦意欲・工夫改善】 【プ⑧主体性・協力的性】
	⑥	【1組】 1/29(火) 3・4校時	「プログラムのヒミツをさぐる」 ・グループごとに異なるモデルを作り、プログラムブロック(命令)の意味を考え、ワークシートにまとめる	[主体的態度]①② 【プ⑦意欲・工夫改善】 【プ⑧主体性・協力的性】
	⑦	【2組】 2/5(火) 4校時	ブルロボット(よろよろ) レースカー(駆動) 地震(クランク) カエルの成長(歩く) 花(スピン) 水門(曲げる) ヘリコプター(巻き上げる) リサイクルカー(持ち上げる)	
	⑧	【2組】 1/30(水) 1・2校時	・まとめたワークシートを元に別の動きを考え、プログラムを改造する	
		2/6(水) 3校時	【学習のPDCAサイクルを意識させる】 ①こんなふうにかしたい【計画】→②プログラムを組み、ロボットを動かす【実行】→③考えた動きと何が違うか【検証】→④次の目標を立てる【改善】	
第4次 伝える	⑨	【1組】 2/12(火) 3・4校時	「プログラムのヒミツを発表しよう」 ○プログラムブロック(命令)の分かったことを発表する ・発表の準備、練習をする	[思考・判断・表現]①② 【プ④アルゴリズム・論理的な思考】 【プ⑤記号化】 【プ⑥検証・評価】
	⑩	【2組】 2/13(水)	・分かったことを発表し、自分たちが改造したプログラムを紹介する	[主体的態度]③

		1・2校時	・ふりかえり(自己評価シート)	【プ⑨生活への活用】
--	--	-------	-----------------	------------